

# 全国英語教育学会 第49回福岡研究大会

2024(令和6)年8月24日(土)・25日(日)

会場:福岡工業大学

写真提供:福岡市

## ご案内

下記の要領により、福岡研究大会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、大会案内、大会プログラム（7月上旬発表予定）、その他大会関連事項は、全国英語教育学会福岡研究大会のウェブサイト上で随時発表いたします。最新の情報は、大会ウェブサイト(<https://www.jasele49fukuoka.org>)でご確認ください。

2024（令和6）年4月1日

全国英語教育学会会長	深澤 清治	（広島大学名誉教授）
大会実行委員長	中村 典生	（長崎大学）
大会実行副委員長	土屋 麻衣子	（福岡工業大学）
大会実行副委員長	大下 晴美	（大分大学）
大会事務局長	石原 知英	（鹿児島大学）

- 期 日： 2024（令和6）年8月24日（土）・25日（日）
- 会 場： 福岡工業大学（<https://www.fit.ac.jp/>） 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東 3-30-1
- 主 催： 全国英語教育学会  
（地区学会：北海道英語教育学会・東北英語教育学会・関東甲信越英語教育学会・中部地区英語教育学会・関西英語教育学会・中国地区英語教育学会・四国英語教育学会・九州英語教育学会）
- 共 催： 学校法人福岡工業大学
- 後 援： 福岡県教育委員会・福岡市教育委員会
- 担当地区学会： 九州英語教育学会
- 大会事務局メールアドレス： [jasele49fukuoka@gmail.com](mailto:jasele49fukuoka@gmail.com)

### 【重要な日程】

発表申込締切:5月17日(金) 予稿集原稿提出締切:6月14日(金)  
大会参加事前申込締切:7月26日(金)

## 参加要項

参加資格	全国英語教育学会の会員、または、会員以外で英語教育に従事している方、及び英語教育に関心を持っている方なら、どなたでもご参加いただけます。
参加申込	参加を希望されている方は、できるだけ事前に申込をお願いいたします。申込の際には、同封の「大会参加・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご参照の上、福岡研究大会ウェブサイト ( <a href="https://www.jasele49fukuoka.org">https://www.jasele49fukuoka.org</a> ) を通してお申し込みください。ご発表を申し込まれた方、及び各種フォーラム・ワークショップ・シンポジウムの提案者（学会が依頼する提案者を除く）も大会参加の手続きが必要となります。
参加事前 申込締切日	参加事前申込締切日は <b>2024（令和6）年7月26日（金）17:00（日本時間）</b> です。締切後も「当日受付扱い」としてウェブサイトからの参加申込を受け付けます。当日の受付の混雑や現金支払いの面倒を避けるためにも、ウェブサイトからの申し込みをお勧めいたします。
参加費	参加の申込方法により変わりますので、ご注意ください。 ○事前申込の場合：プログラム集・大会予稿集のアクセス権も含めて、 会員 3,500 円、非会員 4,500 円、学生 2,000 円 ○当日受付の場合：プログラム集・大会予稿集のアクセス権も含めて、 会員・非会員ともに 5,000 円、学生 3,000 円 ※学生（学部学生、専任職を有しない大学院生）の場合、ウェブでの参加申込に際して学生証の画像を送付してください。当日受付の場合は、受付で学生証を提示してください。 ※本学会は、小学校英語教育学会と提携しております。小学校英語教育学会の会員の方は、全国英語教育学会会員でなくても、会員と同額（事前申込：3,500 円、当日受付：5,000 円）になります。
申込みの取消	福岡研究大会ウェブサイト上より申込みの取消を行ってください。 ※ウェブサイトの「キャンセルについて」をご参照いただき、【参加登録】【懇親会】【宿泊】【託児コーナー】の各キャンセルポリシー項目について必ずご確認の上、ウェブサイト上のフォームから変更をお願いいたします。
派遣申請書	大会参加の派遣申請が必要な方は、依頼先・住所・氏名を明記の上、所属長名を付記して、大会事務局までメールでお申し込みください。
学生会員の 大会参加 助成制度	本学会には、学生会員の大会参加助成制度があります。詳しくは、全国英語教育学会 HP の「学生会員の研究大会参加助成金制度」内の制度概要・応募要領をご確認の上、応募要領に従って、全国英語教育学会学生支援部事務局（ <a href="mailto:jaselegakuseishienbu@gmail.com">jaselegakuseishienbu@gmail.com</a> ）までご連絡ください。

## 発表要項

発表者の 資格	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 2024（令和6）年2月末までに、全国英語教育学会に会員登録し、2023（令和5）年度分の会費を納入していることが必要です。</li><li>(2) 共同発表では、代表者が上記の条件を満たし、かつ、他の発表者全員が、発表申込締切日までに、全国英語教育学会に会員登録し、会費を納入していることが必要です。共同研究代表者は、共同発表者の会員登録と会費納入が発表申込締切日までに完了されていることを、責任をもってご確認ください。</li><li>(3) 研究大会の実行委員会においても、発表申込終了時点で、研究発表・事例報告の発表申込者全員について、全国英語教育学会事務局の会員名簿によって、資格審査を行います。その結果、共同研究において、共同研究発表者としての資格を有していないものが含まれていると判明した場合は、<u>共同研究それ自体の発表ができませんので</u>、ご注意ください。</li></ol>
------------	--

**自由研究  
発表・事例  
報告の申込**

- (1) 発表申込は、「全国英語教育学会第 49 回福岡研究大会」ウェブサイトの「発表申込」のページから行ってください。書式に従って、発表題目、その他必要事項を記入し、**5月17日（金）17:00（日本時間）**までに申し込んでください。要旨は、内容審査の上、発表申込が採択された後に、大会プログラム集に掲載し、ウェブサイト上でも公開されます。なお、発表申込後は発表題目等を一切変更できません。
- (2) 発表は 2 件まで可能ですが、発表代表者には 1 回しかねられません。ただし、フォーラム、シンポジウムなどは含みません。
- (3) 発表要旨の作成に当たって
  - ① ウェブサイト上の発表申込フォームに書き込んでください。
  - ② ・日本語：200 字以内、タイトルや所属を含めない  
・英語：50 語程度、タイトルや所属を含めない
  - ③ 図や写真、表は入れられません。
  - ④ 発表タイトル及び要旨は、発表言語に合わせてください。
  - ⑤ 要旨はウェブサイト及びプログラム集で公開されます。
- (4) 発表カテゴリーは以下のようになっております。
  - A. 種類 自由研究発表 事例報告
  - B. 形態 口頭発表 又は ポスター発表
- (5) 発表の日時の指定は受け付けませんので、ご了承ください。

**予稿集原稿  
執筆要領**

- (1) 当日発表時のハンドアウトの代わりとして、予稿集（ウェブ版）を作成します。発表内容を執筆要領に従って、A4判2枚（厳守）で作成してください。
- (2) 発表内容を作成する際には、自身の研究内容と他の研究者の研究内容とが明確に区別されるように記載してください。特に、自身の研究内容が他の研究者の研究と密接な関係にある場合（例えば、共同発表で行った内容を改めて個人で発表する場合）、その旨を原稿の中（本文及び引用文献）で明確に記載し、必要に応じて事前に発表内容に関して当該研究者の了解を得るなど、他の研究者の知的財産権を侵害しないように配慮してください。
- (3) 原稿は大会ウェブサイトの予稿集原稿提出フォームを使用してご送付ください。
- (4) 予稿集原稿作成に関するお問い合わせは、大会ウェブサイトの「お問合せフォーム」をご利用ください。
- (5) 予稿集の執筆要領は、大会ウェブサイトに掲載しますのでご覧ください。執筆要領に従っていない原稿は、編集委員会で修正、あるいは執筆者に差し戻しとなることがあります。
- (6) 福岡研究大会では予稿集を pdf ファイルとして大会ウェブサイトに掲載いたします（参加申込者に対する限定公開となります）。
- (7) 図表（特に写真）の掲載について、著作権の取り扱いには十分ご注意ください。また写真に写り込んだ児童・生徒や学生・教員などの顔、書籍の書影やアプリの写真などについて、執筆者の責任で許諾を取る、写真等の加工をしておく等、必要な手続きをお取りください。
- (8) ウェブ上に公開される予稿集原稿はカラー表示されます。

**予稿集原稿 提出締切：2024（令和 6）年 6 月 14 日（金）17:00（日本時間）**

**発表要領**

- (1) 自由研究発表・事例報告は、発表・報告 20 分、質疑応答 10 分、計 30 分です。司会者はつきません。進行の補助をするタイムキーパーがつかます。
- (2) 機器の不具合やインターネット接続環境の問題で発表時間の短縮があっても、終了時間はお守りください。
- (3) 自身が関わっている著書や教材等の宣伝チラシや、自身が関わっている研究会等の案内チラシなどの配布や、スクリーンでの紹介・案内行為については、原則、認められていません（賛助会員による発表は除く）。ただし、発表内容に関連して、自身が関わっている著書・教材・研究会等に補足的に触れることは、営利目的でない限り、認められます。
- (4) ポスター発表は、あらかじめ指定された時間帯（コアタイム）で 60 分間ポスター前にて発表・質疑応答をお願いします。
- (5) 予稿集のための原稿を作成する場合と同様、自身の研究内容と他の研究者の研究内容が明確に区別されるように記載してください。特に、自身の研究内容が他の研究者の研究と密接な関係にある場合（例えば、共同発表で行った内容を改めて個人で発表する場合）、その旨をスライドの中（本文及び引用文献）で明確に記載し、必要に応じて事前に発表内容に関して当該研究者の了解を得るなど、他の研究者の知的財産権を侵害しないように配慮してください。

## 大会日程概要

### 8月23日（金）

14:30～17:00 理事会（於：福岡工業大学 A棟1階 A15 多目的室）

### 8月24日（土）

時間帯	内 容
8:30～	受付
9:00～9:20	開会行事
9:30～12:00	自由研究発表・事例報告・賛助会員による発表* ① 9:30～10:00    ② 10:10～10:40    ③ 10:50～11:20    ④ 11:30～12:00
11:00～12:00	ポスター発表コアタイム（9:30 掲示開始）
12:00～13:30	昼食・休憩
12:10～13:10	大学生・大学院生フォーラム
13:30～14:50	特別講演
15:10～16:50	課題研究フォーラム・授業研究フォーラム ① 課題研究フォーラム1年目（北海道、中国） ② 課題研究フォーラム2年目（中部、関東甲信越） ③ 授業研究フォーラム（関西、東北）
17:00～17:40	総会
18:00～20:00	懇親会（於：福岡工業大学レストラン OASIS）

### 8月25日（日）

時間帯	内 容
8:30～	受付
9:00～12:50	自由研究発表・事例報告・賛助会員による発表* ⑤ 9:00～ 9:30    ⑥ 9:40～10:10    ⑦ 10:20～10:50    ⑧ 11:00～11:30 ⑨ 11:40～12:10    ⑩ 12:20～12:50
9:00～12:50	ワークショップ ① 9:00～10:10    ② 10:20～11:30    ③ 11:40～12:50
9:00～12:50	地区特別企画 ① 9:00～10:10    ② 10:20～11:30    ③ 11:40～12:50
10:30～11:30	ポスター発表コアタイム（9:00 掲示開始）
12:50～14:20	昼食・休憩
13:00～14:00	大学生・大学院生フォーラム
14:20～16:00	シンポジウム
16:00～16:20	閉会行事

\* 賛助会員は研究大会で発表（新教材の開発研究発表やデモなど）を行うことができます。

発表を希望される場合は、大会ウェブサイトより期限（5月17日）内にお申し込みください。

## プログラム紹介

### シンポジウム 日本の英語教育の将来：AIの衝撃—英語教室はどう変わるのか？

コーディネーター： 石井 雄隆（千葉大学・理化学研究所）

登壇者： 石井 雄隆（千葉大学・理化学研究所）・水本 篤（関西大学）・柳瀬 陽介（京都大学）

#### シンポジウム概要：

近年の ChatGPT などの生成 AI や機械翻訳の技術発展は目覚ましい。本シンポジウムでは、AI は英語教育にどのような影響を与えるのか、また AI 時代の英語教師には何が求められているかについて検討する。はじめに、AI ツールを用いた英語学習における学習者のエンゲージメントについて研究結果を基に述べる。次に、ChatGPT をもちいた一連の研究成果と、その結果から現在の教室内の英語教育に還元できる内容を議論する。最後に、AI の言語生成と人間の言語使用の違いを踏まえた上での英語教育の発展について論ずる。それぞれの登壇者の発表を踏まえ、今後の英語教育はどう変わっていくのか、また AI 時代の英語教育はどうあるべきかについて議論する。

### 特別講演 「英語教育」に「コミュニケーション」の矢を放つ

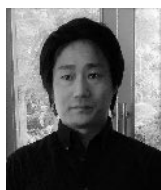
講師： 榎本 剛士（大阪大学大学院人文学研究科准教授）

#### 講演概要：

英語を教えたり、学んだりすることは、紛れもなく、特定の時代の中で行われる社会・文化的実践であり、その意味は決して「教室」の中だけで完結するものではない。そうであるならば、「英語教師は、英語を教えることで何をしているのか」「生徒は、英語を学ぶことで何をしているのか」という問題についてなるべく現実に即して考えるためには、英語を教えること・学ぶことそれ自体を、アイデンティティ、権力関係、イデオロギー、歴史といった要素と密接に結びつけた「コミュニケーション」として捉える視座が不可欠ではなからうか。

本講演では、主に言語人類学、社会言語学、語用論の視点から、ともすれば私たちの「教育的まなざし（educational gaze）」によって覆い隠されてしまいがちな「英語教育」の姿に光を当てることを試みる。その姿は、私たちが描く（描きたい）自画像とは異なるかもしれない。しかし、このような営為の目的はもちろん、誰かを責め立てることではない。自らの実践を生み出している、また、制約している様々なコンテクストに批判的な眼を向けることを通じて、より自由で創造的な実践を目指すために、「英語教育」に向けて「コミュニケーション」という名の矢をともに放ちたい。

.....特別講演講師 プロフィール.....



#### 榎本 剛士（えのもと たけし）

大阪大学大学院人文学研究科言語文化学専攻准教授。1978年、愛知県生まれ。立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科異文化コミュニケーション専攻博士後期課程満期退学。博士（異文化コミュニケーション学）。芝浦工業大学デザイン工学部特任准教授、金沢大学国際基幹教育院准教授を経て、現職。専門は言語人類学、語用論、記号論。

- [著書] 『ポエティクスの新展開：プルリモーダルな実践の詩的解釈に向けて』（共編、ひつじ書房、2022年）  
『よくわかる英語教育学』（共編著、ミネルヴァ書房、2021年）  
『学校英語教育のコミュニケーション論：「教室で英語を学ぶ」ことの教育言語人類学試論』（単著、大阪大学出版会、2019年） 『言語人類学から見た英語教育』（共著、ひつじ書房、2009年）
- [論文] 「コミュニケーション論から考える『ことばの教育と平和』：日本における英語の教育はいつまで『英語教育』でなければならないのか」佐藤慎司・神吉宇一・奥野由紀子・三輪聖編著『ことばの教育と平和：争い・隔たり・不公正を乗り越えるための理論と実践』（明石書店、2023年）  
『「英語教育」の指標的類像として見る『英語の授業』』片岡邦好・武黒麻紀子・榎本剛士編『ポエティクスの新展開：プルリモーダルな実践の詩的解釈に向けて』（ひつじ書房、2022年）  
「対抗する言葉としての『コミュニケーション』：英語教育の2022現場から」柿原武史・仲潔・布尾勝一郎・山下仁編著『対抗する言語：日常生活に潜む言語の危うさを暴く』（三元社、2021年） など

## ◇ 課題研究フォーラム 1 年目

### 1. 「中高における英語語彙指導の目標と指導を考える」(北海道英語教育学会)

- ・コーディネーター： 笠原 究 (北海道教育大学)
- ・提案者： 岩田 哲 (北海学園大学)・鈴木 健太郎 (北海道教育大学)  
田中 洋也 (北海学園大学)・濱田 裕介 (北嶺中・高等学校)  
リン アイビー (札幌学院大学)

### 2. 「通常の学級での英語授業における学習者支援」(中国地区英語教育学会)

- ・コーディネーター： 大谷 みどり (島根大学)・猫田 英伸 (島根大学)
- ・提案者： 坂田 直子 (島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程)  
嵐谷 恭子 (島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程)  
三成 拓亜 (島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程)  
川谷 のり子 (島根大学教育学部附属学校園学習生活支援研究センター)  
赤木 綾香 (鳥取県立境港総合技術高等学校)・村田 美和 (高崎健康福祉大学)

## ◇ 課題研究フォーラム 2 年目

### 1. 「英語教育研究者のための研究倫理：ガイドライン原案・制度改革・研究倫理教育の提案」 (中部地区英語教育学会)

- ・コーディネーター： 草薙 邦広 (県立広島大学)
- ・提案者： 草薙 邦広 (県立広島大学)・浦野 研 (北海学園大学)・田中 洋也 (北海学園大学)  
加藤 由崇 (中部大学)・川口 勇作 (愛知学院大学)

### 2. 「エンゲージメントを引き出す英語授業—小中高での実践から—」(関東甲信越英語教育学会)

- ・コーディネーター： 廣森 友人 (明治大学)
- ・提案者： 廣森 友人 (明治大学)・俣野 知里 (京都市立二条城北小学校)  
胡子 美由紀 (広島市立美鈴が丘中学校)・泉澤 誠 (武蔵野中学高等学校)

## ◇ 授業研究フォーラム

### 1. 「『指導と評価の一体化』の実践課題—小・中・高での事例研究—」(関西英語教育学会)

- ・コーディネーター： 今井 裕之 (関西大学)
- ・提案者： 羽瀨 弘毅 (兵庫県西宮市立甲陽園小学校)・狩野 伸行 (大阪府堺市立上野芝中学校)  
有嶋 宏一 (鹿児島県総合教育センター)

### 2. 「やりとりの充実を目指した取り組み—題材内容を意識した言語活動を通して」(東北英語教育学会)

- ・コーディネーター： 若有 保彦 (秋田大学)
- ・提案者： 鈴木 幸恵 (宮城県宮城野高等学校)・高橋 淳 (兵庫県立淡路三原高等学校)  
三浦 京介 (岩手県立山田高等学校)

## ◇ 大学生・大学院生フォーラム

### 1 日目 「大学生・大学院生のための交流の場」

- ・司会： 細田 雅也 (成城大学)

### 2 日目 「大学生・大学院生のためのキャリアパス」

- ・司会： 鈴木 健太郎 (北海道教育大学)
- ・登壇者： 鈴木 祐一 (神奈川大学)

## ◇ ワークショップ

1. 「思考・判断・表現を育てる指導と評価」  
講師：山本 孝次（愛知県立刈谷高等学校）
2. 「教師が学び合う学校づくり・チームづくりの戦略」  
講師：関西英語授業研究会 Harvest（代表者：狩野 伸行（堺市立上野芝中学校））
3. 「英語教師の指導をアップデート」  
講師：奥住 桂（埼玉学園大学）

## ◇ 地区特別企画

1. 「小学校外国語における学習の個性化を支える学習環境としての ICT 活用」（小学校）  
コーディネーター：大田 亜紀（別府大学短期大学部）  
講師：高田 実里（熊本大学教育学部附属小学校）
2. 「生徒のエンゲージメントを高める授業デザインの工夫」（中学校）  
コーディネーター：入江 有希（鹿児島市立長田中学校）  
講師：石塚 直貴（鹿児島市立伊敷中学校）・桂木 唯尋（鹿児島市立河頭中学校）
3. 「英語が苦手な生徒も英語学習が楽しくなる ICT を活用した指導」（高等学校）  
コーディネーター：坂口 寛子（福岡県立春日高等学校）  
講師：松村 友美（長崎県立長崎北高等学校）

## 弁当・懇親会・宿泊・託児コーナーの申込

申込方法の詳細は、同封の「大会参加・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご覧ください。研究大会ウェブサイトより **7月26日（金）** までにお申し込みください。

### ◆ 弁当

1日目及び2日目の弁当（お茶付き）1,100円の申込みを受け付けます。当日は福岡工業大学の学食（24日のみ）及び構内のコンビニエンスストア（24日・25日）も営業しておりますが、会場周辺には食事をとれる場所が少ないため、事前の申込みをお勧めいたします。

### ◆ 懇親会

福岡工業大学レストラン OASIS にて、会費 6,000 円（学生 4,000 円）で懇親会を開催いたします。既定の人数（150名）に達し次第締め切らせていただきます。

### ◆ 宿泊

福岡研究大会の期間中は繁忙期（8月の週末）のため、ホテルの空室が少ない可能性があります。大会ウェブサイト上には、旅行会社によるホテル斡旋のページを設けていますので、早めの予約をお勧めいたします。

### ◆ 託児コーナー

大会期間中、託児コーナーを開設いたします。詳細は大会ウェブサイトにてお知らせしますが、事前予約が必要です。

## 会場でのネットワーク利用

福岡工業大学での無線 LAN の使用方法については後日大会ウェブサイトにてお知らせいたします。なお、予稿集につきましては、可能な限り、事前にダウンロードしていただきますようお願いいたします。

## 各種申込

### ◆ 発表申込先

・福岡研究大会ウェブサイト「発表要領&申込み」のページからお申し込みください。

### ◆ 大会参加・弁当・懇親会・託児コーナー申込先

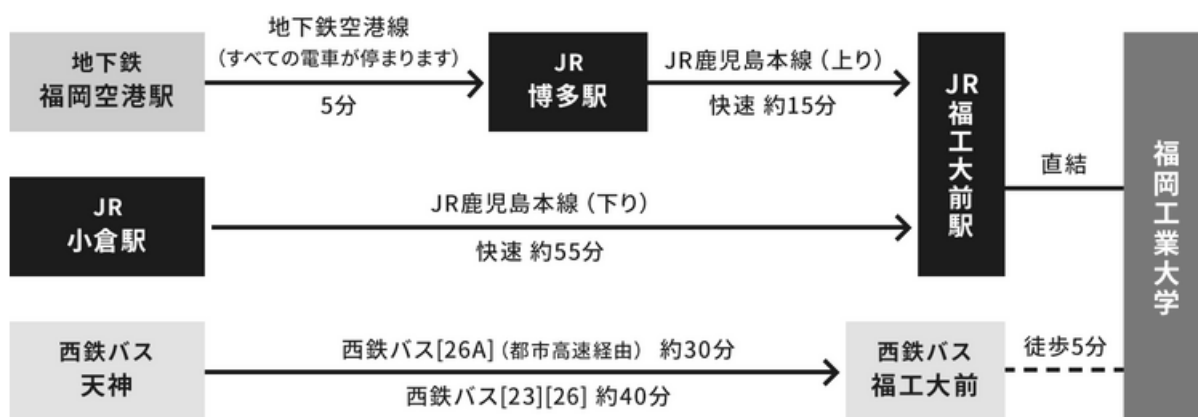
・福岡研究大会ウェブサイト「参加要領&申込み」のページからお申し込みください。  
・発表を申し込まれた方も、大会参加の申込みが必要です。

### ◆ 大会予稿集原稿

・予稿集原稿は、福岡研究大会ウェブサイト「予稿集執筆&提出」のページからご送付ください。  
・予稿集原稿についてのお問い合わせは、福岡研究大会ウェブサイトの「お問合せフォーム」をご利用いただくか、大会事務局のメールアドレス宛てにお願いいたします。

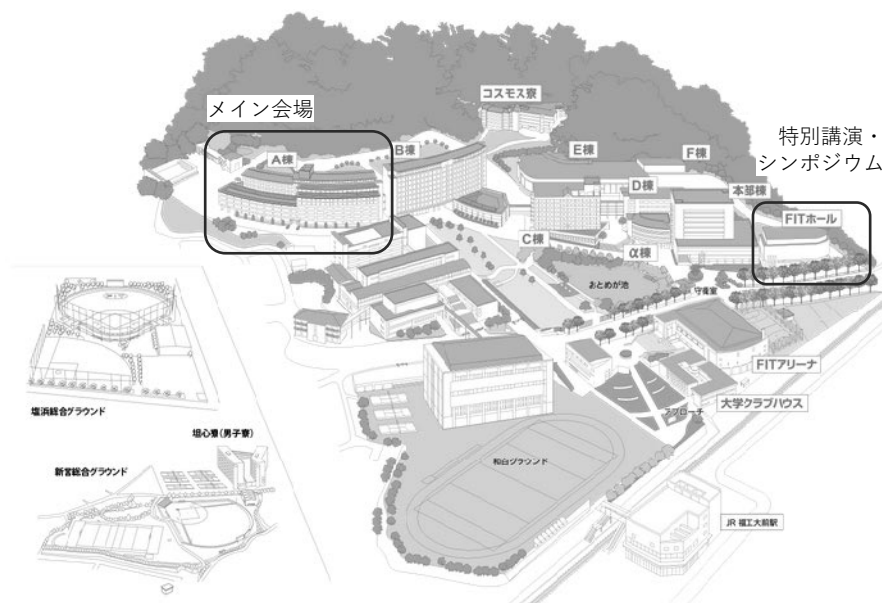
## 会場アクセス

### ◆ 福岡工業大学へのアクセス (<https://www.fit.ac.jp/shisetsu/campus/>)



※ 会場には一般参加者のための駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。

### ◆ キャンパスマップ (<https://www.fit.ac.jp/shisetsu/campus/map/>)



### ◆ 大会問い合わせ先：大会事務局

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-20-6 鹿児島大学教育学部 石原 知英

email : jasele49fukuoka@gmail.com

大会ウェブサイト : <https://www.jasele49fukuoka.org>

大会ウェブサイト

